

遊便



遊便（第7号）
発行：医療法人仁風会
発刊日：平成26年10月2日

巻頭言

八雲病院居宅介護支援事業所

所長 貝谷 昭

二〇〇〇年四月に施行された介護保険制度ですが、十四年が経過し、この間に制度全般もそうですが、先月半ばまで私が所属していた認知症グループホームの役割も大きく様変わりしました。

特に二〇〇八年の改正で地域密着型サービスになり、医療連携体制加算で常時の医療との連携、重度化の対応、看取りなども行うことが求められるようになってきています。

また、来年度からの第六期介護保険事業計画では、「地域包括ケアシステムの構築」がキーワードになっていますが、これは地域の中で、在宅生活を中心にご本人の状態に応じて医療・介護の必要なサービスが切れ目なく利用できるような仕組みを作ることです。認知症の方もこのケアシステムの枠組みで対応していくこととなります。

しかし、徘徊して施設に保護されたまま何年も身元が分からず生活されている方が増えているというニュースをよく聞くようになりました。また、愛知県で列車に轢かれ亡くなられた認知症の男性のご家族がJRに対して損害賠償の支払い命令の判決が出された裁判もありました。さらに、十五歳から二十九歳までの「若年介護者（ヤングケアラー）」の状況がテレビで取り上げられたりもしています。

このように「地域での生活を支援する」といっても、ご本人だけでなくご家族への支援や近隣の方へのサポートも含め、考えなければならぬ問題は多様になってきていると感じています。

このような状況ではありますが、今後も一層「安心して暮らせる街づくり」を地域の方と協力しながら一緒に進めていければと考えています。

遊便第7号：もくじ

巻頭言	1
認知症特集	2
あじさいの会 活動報告	3
たまごさんからの お便り	4
ミニクイズ	4
地域連携を考える	5
法人アクセス	6



認知症特集
第1回

認知症デイケア
～デイケア八雲のご紹介～

「心身機能の回復
を目指して」

八雲病院認知症病棟に併設した医療保険の重度認知症デイケアです。介護保険が始まる前より行っており、開設24年になります。

デイケア八雲は認知症の方が通所し心身の機能維持回復を図ることが目的です。

重度認知症デイケアは医療機関(病院・診療所など)に併設され、医師の指示が必要で医療保険の適応となることがサービスとは違い、医師、看護師、作業療法士、精神保健福祉士による診療とケアが行われていることが特徴です。認知症にともなう周辺症状(興奮・妄想)など医師の診療を受けながら必要であれば薬の処方がなされ、又症状が落ち着き生活リズムが整うまでの間の入院も出来ます。そ

して、介護保険との併用も可能です。

デイケア八雲の役割・目標

ご本人・ご家族との相談を基本に、看護師・作業療法士・精神保健福祉士の専門職の協働によりご本人・ご家族から生活全般の状況についてお話しを伺い「どのような生活を望まれるか」というご希望(生活目標)を確認します。生活目標に沿うよう、ご本人の「持っている力の維持・向上」のために適切な活動プログラムを考えます。また活動プログラムを通して「どのように変わったか」について評価を行い、必要に応じてプログラムの見直しを行います。精神面・生活リズムが安定できるよう、ご利用の様子やご家族とのお話から認知症状の変化や精神面・身体面の健康状態について確認をします。ご

利用支援を行います。私達スタッフはご本人の気持ちを汲み取り、ご家族と共用し楽しい生活が送れる事を目指し、

ご本人様とご家族の橋渡しになればと思っています。

認知症介護を1人で頑張らないでください。

寄りかかる場所をみつける事も大切です。

病気や看護についての疑問や相談、悩みはご遠慮なくご相談ください。(仙石)



ちぎり絵の活動に集中して取り組むご利用者



詩吟のプログラムの様子



家族に対してご相談を受けたり、介助・対応方法のアドバイスなどを行うことで、介護負担・ストレスの軽減に繋がるようにします。ご本人・ご家族の感じておられるさまざまな生活上の支障に対し、医療や介護以外の福祉制度やサービスについての



あじさいの会

サマーディキャンプ！！

～県民の森でBBQをたのしむ～

先日、毎年恒例となっていますあじさいの会夏のイベント「サマーディキャンプ」を行いました。今年は昨年好評だった飯南町にあります「県民の森もりのす」に行ってきました。今回は総勢22人という近年で一番多くの参加者で出掛けました。

当日は曇り空からの出発となりました。行きの道中では突然雨が降り始め現地近くまで降り続けるような天候でしたが、日頃の行いが実り、到着前



美味しいお肉が焼けました

には雨もあがり晴れ間も見えはじめ、松江との気温差-6度という環境の中、避暑地での絶好のディキャンプ日和になりました。

現地では、BBQサイトを借りバーベキューを開催しました。参加者はお腹いっぱい食べ、近くの小川に入って涼を楽しんだりと皆さんそれぞれゆっくりした避暑地での時間を過ごす事が出来ました。

帰りは道の駅に立ち寄り、日頃の疲れも忘れて一日楽しい時間を過ごす事が出来ました。

(狩野)



室内レクリエーション

～レクを通じて一緒に楽しむ大切さ～

あじさいの会の企画かつ今年度から初めての企画となった室内レクリエーション。職員を入れて2桁のメンバーが揃い平田のサン・レイクにて行いました。

ボールの代わりにフリスビーを使ったドッチフリスビーを行い、初めてながらも徐々にメンバーの動きも良くなり必死に投げたり、逃げたり、最後の締めは職員が本気になりすぎ、一人で机に激突しお茶こぼすなどのハプニングあり、大盛り上がりでの終了となりました。

レクリエーションを通じて、誰かと一緒に楽しむことの素晴らしさを改めて感じた一日でした。参加していただいた皆さん有難うございました。(大塚)

ソーシャルクラブ

「あじさいの会」ご案内

「あじさいの会」ってなに？

八雲病院に通院中の患者さんや職員が自主的に集まり、イベント等を計画して、それを通じてともだちの和を広げてゆくことを目的に開催される交流会です。

今年度はあとのどのようなイベントがあるの？

- 10月 ゴズ釣り
- 12月 忘年会・ミーティング
- 2月 ボーリング

たまごさんからの お便り



平成26年5月21日・22日の両日松江総合医療専門学校から5人の看護学生さん、6月12日松江高等看護学院から4人の看護学生さん、6月28日島根県立大学から4人の看護学生さんが、看護実習としてピ・フレンディングに来られました。当法人の社会資源である精神科デイケアたんぼぼ、指定障害福祉サービス事業所コスモス、八雲会作業所、それぞれの特徴や機能を学んでもらいながら、それぞれの施設の良さを学び・感じてもらえる機会になったようです。以下は実習のふりかえりで頂いた感想の一部です。

松江総合医療専門学校…

「作業を一生懸命しておられて、仕事をこなすことにより達成感が味わえ、それが生活のメリハリや生き方自体にもつながるのだと思った。」「精神障がいの方への見方が変わった。偏見をなくしてゆけるように自分もPR塔になってゆきたいと思った。」

松江高等看護学院…

「精神障がいの方との関わりが今までなかったもので、出会うことで新しい発見があった。皆さん、優しく温かいなと。」「たんぼぼでは、個々の社会へ出ていくためのステップを確実に踏めるようプログラムを組み、支援してゆくことが重要であると感じた。」

島根県立大学…

「教科書で学ぶだけだった為間違っていたイメージをもっていたが、実際に精神障がいの方と接したり、話を聞いて障がい者の方たちへの理解がまった。」「コスモスでは一人一人が自立に向けて目標を持って生活してすごい!と思った。」



ミニクイズ 今回も楽しく考えましょう…ね!!

① 次に挙げる生き物は海という字がついていますが何と読むでしょうか?

- 海豚 ()
- 海月 ()
- 海猫 ()
- 海馬 ()



② 反対の漢字を入れて単語にしてね。

公 □ 、 □ 捨 、 断 □ 、 天 □ 、 □ 客

③ またまた映画の問題ですよ!

1. 小さな絵本店のキャスリンは「NY152」のハンドルネームの男とメール交換。その男は大手本屋チェーンのオーナー。実生活では反目しあう2人のラブコメディ。トム・ハンクス、メグ・ライアン出てますよ。その映画のタイトルは?
2. 終戦間近の神戸空襲で母を失った清太と節子、支えあいながら生きようとする2人。非情な戦争は許してくれない。涙の名作は?

答えは5ページ→

★がまねのミニクイズ★

地域連携を考える

地域勉強会を開催

平成26年7月12日、第5回となる「認知症・心のケア 地域勉強会～精神科医療と地域・介護の連携を考える～」がピ・フレンドングにおいて開催されました。八雲地区民生委員さん16人、大庭地区民生委員さん7人、地域で活動している市役所の保健師さん、包括支援センターケアマネージャーさん、サービス提供事業所の相談員さんら関係者17人、総勢42人の方にご参加いただきました。

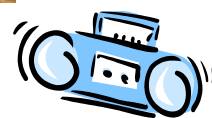
前半は、八雲病院の重松精神保健福祉士から「精神保健福祉法の改正」についての説明、並びに認知症グループホーム雲陽の里の貝谷所長から「認知症の症状と対応について」の話題提供をしました。後半は、5グループに分かれて、2007年12月7日のおきたJR東海の列車事故損害倍書支払い命令の裁判について、思いを交換したり、徘徊する認知症高齢者の方を支援するために地域でどのような連携やケア体制がとれるのかについて話し合いをしました。全国でも住所不定で施設に保護されている認知症高齢者が800人超おられることも先日新聞

の一面で報道されており、決して他人事ではないという話がありました。遠方まで徘徊して保護されることも決して珍しいことではなく、そうした現実が松江市内にも多くあることを確認しました。「地域で」と国は簡単に言います。でもやはり最後は地域の力が頼りになるのは確かなことかもしれません。

(森脇)



サマーコンサート
出演者みんなでハイチーズ



かわいい参加者もありました

広島豪雨災害への募金活動について（報告）

平成26年8月19日からの豪雨災害により多く犠牲者と甚大な被害が広島市を襲いました。

3年前の東日本大震災の時に被災された方も広島へボランティアに入るなど、救援の手が広がりつつあります。微力ながら、仁風会の有志で広島豪雨災害への支援が出来たらと、考え募金活動を行いました。9月11日に広島銀行松江駅前支店にて「広島銀行 広島市役所支店」宛て46,000円を振り込み致しました。

読んでみたい一冊

「統合失調症がやってきた」

著者：ハウス加賀谷 松本キック

出版社：イースト・プレス



人気絶頂の最中、突然芸能界から姿を消した一人の芸人ー。

お笑いコンビ「松本ハウス」は、

ハウス加賀谷の統合失調症悪化により、1999年活動休止。その後入院生活を経て症状を劇的に改善させた加賀谷は、10年ぶりの芸人復帰を決意する。相方・松本キックの視点を交えながらコンビ復活までの軌跡が綴られる、感動の一冊。（価格：1,404円）

クイズの答え→①いるか。くらげ。うみねこ。とど。②私。取。続。地。接。③ユー ガット メール
④火垂るの墓



わたくしたちは心の声を大事にします
 わたくしたちは医療水準の向上に努めます

八雲病院

医療法人仁風会

○八雲病院 外来診療時間

平日 8:30-12:30 / 土・日曜日 8:30-11:30

休診日 第1・第3・第5日曜日, 祝日, 土曜日の午後

松江市大庭町1460-3 電話(0852)23-3456(代表)

FAX(0852)23-3495

○デイケアたんぽぽ(精神科デイケア) ※お問い合わせは代表まで

月曜日-金曜日 午前9:30-午後3:30

○デイケア八雲(重度認知症デイケア)

※お問い合わせは代表まで

月曜日-金曜日 午前9:00-午後3:40

○コスモス(指定障害福祉サービス事業所)

松江市大庭町1459-1 電話(0852)23-3360

FAX(0852)23-3370

○ビ・フレンドリング(地域活動支援センター・相談支援事業所)

松江市大庭町1461-3 電話(0852)23-4111

FAX(0852)23-4112

○雲陽の里(認知症グループホーム・介護保険)

松江市大庭町1459-1 電話(0852)23-3700

○八雲ハイツ(精神障害者グループホーム)

松江市矢田町107-4

ご意見箱

広報誌「遊便」に対するご意見・ご感想などございましたら、ぜひ下記までお寄せいただくと喜びます。今後とも医療法人仁風会、広報誌「遊便」共々よろしくお願ひ致します。

〒690-0033

松江市大庭町

1460-3 (医)仁風会

広報委員会 まで

編集後記

今回より認知症の特集が始まりました。最近ではメディア等でも「認知症」という言葉を目にする機会が増え、世間の理解も深まっていると感じます。

一方、精神科医療については世間からの敷居も高く、今後敷居を低くす為にも、増々の進展が必要だと思ひます。広報誌を通じて、八雲病院から地域の方々へも様々な情報を発信していきけるよう努めていきたいです

広報委員 若槻

【ご案内】

